

オフィスから発生する すべての情報媒体の安全な処理



ISO 14001:2015 認証取得
ISO 27001:2013 認証取得

不安を安心に 情報廃棄のタケシタ

竹下産業株式会社

はじめに

昨今、さまざまな情報漏洩が社会的にも大きな問題となっています。
対策を怠ることによって取り返しのつかない大きな損害を被りかねない時代です。
こうした時代に対応すべく『ISO27001』や『プライバシーマーク』等の認証を取得される企業が増大しております。
また、環境問題に対する活動としての『ISO14001』の認証を取得する企業も増えております。

当社では、1977年より機密文書破砕処理業務を行ってまいりましたが、このような社会的変化を捉え、より細かく破砕し、より処理能力の優れた大型シュレッダーおよびセキュリティシステム（監視カメラ、パッシブセンサー、警報器）を整備し、またハードディスクをはじめとする各種電子記録媒体を処理するために東京都より産業廃棄物処分業の許可を取得しました。

また、2014年10月より第二情報抹消センターを開設し、機密文書を段ボールを未開封のまま、処理することが可能となりました。

併せて、「GPS」を利用した動態管理システムの導入により、リアルタイムで弊社車両の位置情報が確認できるようになりました。

現在の廃棄物処理事情を考慮しますと、機密文書や記録媒体は焼却処理や埋立てではなく機密を保持しつつ再資源化処理することが望ましいと考えます。

情報媒体の再資源化処理を行う上で最大の問題点は機密保持です。

流通時間が長いほどリスクも増え、製紙工場や最終処分場に到着するまでに幾つもの業者を経なければなりません。



製紙工場内に積まれた紙



製紙工場内に散乱する古紙



溶け残った磁気媒体など

製紙工場での溶解処理については問題点があります。

1. 到着後即時溶解ができない
2. 受入規制
3. 受入ヤード内への第三者の立入り
4. 屋外作業のため強風時の散乱

だからこそ、文書は破砕処理してからの搬入が必要です。

また、製紙工場に直接持ち込みダンボールを未開封の状態での溶解処理をする方法もありますが、製紙工場内は予想以上にオープンで開放的です。

他の搬入業者、従業員の目にも触れます。

この処理方法の一番の問題点は、情報を抹消しない状態での製紙メーカーへの外部委託であるという点です。

このような問題を解消するために当社工場内での破砕処理により書類での流通時間をより短くすることで、機密を保持しつつ再資源化処理することが可能となります。

機密文書処理サービス『T-CUBE』

(大型高速2段シュレッダー)



機密書類処理サービス
T-CUBE



処理能力： 日量4,000kg以上

裁断サイズ： 幅7.5~10mm、長さ35~40mm程度

一番重要である情報抹消工程が製紙メーカーへの**外部委託**となる**溶解処理**ではなく、**回収(GPS搭載車両にて輸送)**から情報抹消工程までの

一貫した破砕処理サービスを提供しております。

インターネットから集荷依頼

会員登録後、マイページからご希望の日程で集荷を依頼、引き取りを待つだけでOK！！
電話や書面でのやり取りは、一切必要ありません！

- より安価で： 社員一人ひとりの作業量を圧縮し、1件あたりにかかる人件費をコストダウン
- より手軽で： お客様の手を煩わせず、気軽に申し込んでいただける
- より信頼できる： 人的管理と機械的管理のダブルチェック

多様なお客様のニーズにお応えするため、分かりやすいプラン設定にしているだけでなく、「インシデント電子化システム（処理完了を迅速にお知らせする機密抹消処理証明書の電子化送信サービス）」や「トレーサビリティ管理システム（処理作業の内容を記録した履歴を残して追跡できるシステム）」といった付加価値も提供させていただいております。

回収時の受託書、処分完了時の証明書、請求書はすべてメール配信。
紙として、保管する必要もなくなります。

また、部署ごとに発注・請求書発行も可能となり
管理部門の方のお手間を減らすことが可能になりました



機密書類処理サービス
T-CUBE

竹下産業株式会社
TAKEJIMA SANGYO



回収受付

回収日決定

T-CUBE

ホームページ
ポータルサイト
機密文書管理システム



会員登録
発送申込 (M)
回収申込 (PBN)
ダンボール購入

回収日報告
ご請求
処分完了報告
回収完了報告

お客様



インターネットを通じて
T-CUBE をお申し込み

情報抹消センター



処分登録

回収 (GPBN)
T-CUBE Mail(佐川急便様による輸送)
段ボール納品

回収登録

回収先



溶解処理サービスとの比較

	サービスの特徴
溶解処理	<p>一番重要な情報抹消工程が外部委託</p> <p>中継地点経由など輸送のリスクが大きく、過去には紛失事故アリ</p> <p>製紙会社の生産計画に左右され、サービス停止の可能性アリ</p> <p>廃棄のために新しい段ボールの提供</p> <p>料金は、1箱1,500~2,200円</p>
竹下産業株式会社	<p>情報抹消工程を外部に委託しない</p> <p>全社員・全工程を対象にISO27001認証を取得(GPS搭載車両にて輸送)</p> <p>セキュリティの整備された自社工場内にて細かく破砕処理</p> <p>2014年10月より未開封破砕処理にも対応</p> <p>料金は1箱1,500円 / 証明書、請求書はメール配信</p> <p>環境負荷を考慮し、プラスチックコンテナを無償貸与（専用ピンで封緘）</p> <p>ハードディスクをはじめとする各種電子記録媒体（CD・FDなど）の処理も可能</p>

社員1人1人の時間の価値が変わります

日々の業務において、情報漏洩の防止にシュレッダーは欠かせません。
しかしながら、シュレッダー作業が社員の皆様の貴重な時間を奪っていることも事実です。
また、リース代・メンテナンス代・電気代、その他経費上見えない人的コストも掛かっています。
当社が御提案するプランは、社員の方々の失われた時間と生産性を取り戻し

セキュリティと環境問題にも配慮したサービスです。

オフィス内で発生する情報媒体（書類・CD・FD・USBメモリなど）を当社工場で処理することにより
お客様の情報を含む情報媒体が原形のまま、リサイクル市場に流通することはありません。

業務ロスを減らし、事務効率の飛躍的な向上により、社員1人1人の時間の価値が変わります。

所在地非公表の情報抹消センター



24時間体制で監視



お預かりした各種情報媒体は、SECOMのセキュリティシステム（監視カメラ15台、パッシブセンサー、警報器、レコーダ）の整備された施設内において、安全に処理されます。

お客様からお預かりした廃棄物の処理工程をオフィスにいながらリモートで閲覧することも可能です。（処理工程を録画したデータの提供も可能）

GPS標準搭載車輻で輸送

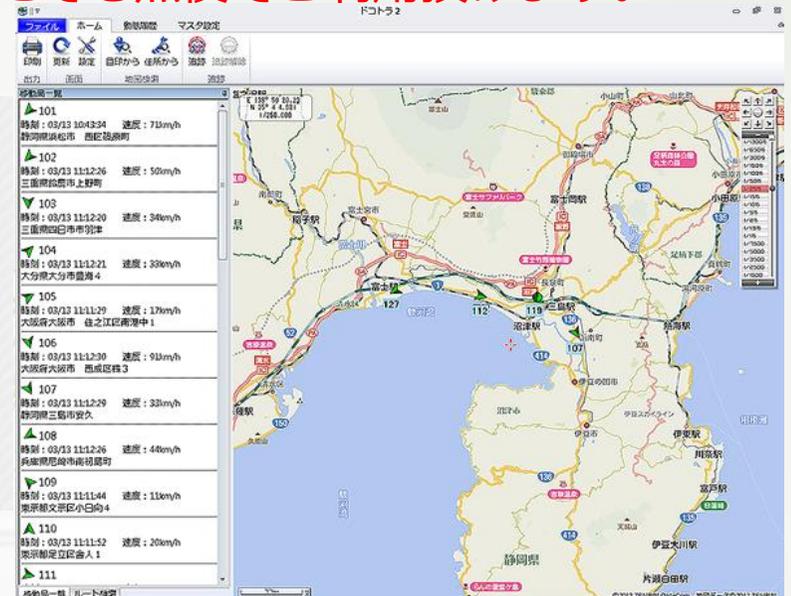
高感度のマルチGPS受信機を使用し、リアルタイムで車輻の位置を確認できます。

インターネットのできる環境があれば、お客様のパソコンから移動管理情報（位置、状態、方位、速度）が地図上で把握できます。

ご希望の方は、事前にURLとパスワードをお伝え致します。

お気軽にお問い合わせください。

機密書類、OA機器ほか各種情報媒体処理のサービスを契約のお客様は
どなたでも無償でご利用頂けます。



タケシタのリスク管理の取り組み ～ Takeshita's Risk Communication ～

お客さまに安心しつづけていただくため「人」にフォーカスしたリスク管理を行っています

お客さまの大切な資産をお預かりし、完全に処分して安心をご提供するのがタケシタの仕事。
それにはまず、お客さまから信頼していただくことが第一です。
信頼される会社であるために、タケシタでは全社をあげてリスク管理に取り組んでいます。

リスク管理を実現するための3つの柱

思考力



多様性と寛容を前提とした対話の場をつくり、考える人間を育て、従業員の新たな発想を喚起する。

信 頼



従業員の能力と誠実性を高め、お客さまと価値を共有し、日本一信頼される会社になる。

笑 顔



社内のコミュニケーションを活性化させ、ワクワクしながら楽しく仕事をし、人生を充実させる。

リスク管理の取り組み

わが社の3大リスクへの具体的な対応

労働安全



従業員はタケシタの宝。従業員が幸せな生活を送れるよう、安全な職場環境を整備します。

情報管理



情報漏洩は企業経営最大の危機。組織的、人的、物理的、技術的安全管理措置を徹底します。

BCP (事業継続計画)



想定を超えた災害が多発中。いち早く復旧するため、被災を前提とした事業継続を検討します。

労働安全の取り組み

労働安全衛生 基本方針 Industrial Safety and Health

- 1 全従業員のコミュニケーションを深める場をつくり、あらゆる労働安全に関する問題を解決していく
- 2 全従業員が思いやりの心を持って共に助け合い、余裕のある職場環境をつくって無事故ゼロを実現する。



安全衛生委員会 委員長 加藤 武司

情報管理の取り組み

情報セキュリティマネジメント 基本方針 Information Security Management

当社は、機密書類および電子媒体の情報抹消処理、廃棄物の収集運搬・処分を行う事業者として、顧客情報をはじめ、お客さまからお預かりした各種媒体など、重要な情報資産をセキュリティリスクから保護し、適切な管理を行うことが、お客様との信頼関係につながると考えています。情報セキュリティマネジメントシステムの適切な運用と管理を事業の重要事項と位置づけ、全従業員で実施、遵守してまいります。



個人情報管理責任者 長 友人

BCP事業継続計画の取り組み

BCP(事業継続計画)基本方針 Business continuity planning

わが社では大地震発生に備え、3つの資産を守るための事前の検討を行います。

- 1 従業員の命を守る
- 2 顧客の情報をを守る
- 3 会社の財務を守る

被災することを前提とした事前の検討で、災害時においても事業継続が実現できるようにします。



オリジナル段ボール



※段ボールがない場合、オリジナル段ボール（42.5cm×31.7cm×29.4cm）を販売いたしております。
ダンボールを広げるだけで、組み立てが可能なワンタッチ式なので、作業効率が上がります。

※段ボールは、会員1枚360円（10枚まで一律3,600円・マイページから申込）、非会員1枚400円（10枚以上・電話申込）となります。

専用コンテナ（定期回収専用）

- 毎月1回、1回10箱以上排出されるお客様には
専用コンテナを無償貸与



約25kgの書類が入ります(専用ピンで封緘可能)

【サイズ53×36×27】

(A4用紙が横に2枚入る大きさ：8cmの高さに折りたたみ可能)

機密文書未開封処理



封緘したまま、処理してほしい。

多くのお客様のご要望により

段ボール箱を開封せずに

処理することが可能になりました。

【注】 バインダー、クリアファイル、ダブルクリップ等の禁忌品は入れないでください。
不純物混入の疑いがある場合、段ボールを開封することがございます。

❖T-CUBE Basicプラン（直接回収）



GPS標準搭載車輛で輸送

1箱1,500円（会員価格：税別）

- ※ 4箱まで一律6,000円（1箱追加ごとに1,500円加算）
- ※ 箱のサイズの目安 3辺（縦・横・高さ）の合計が100cm、重量20kg程度
- ※ 非会員1箱2,000円

❖プラスチックコンテナ無償貸与 （毎月1回10箱以上のお客様に限る）

約25kgの書類が入ります（専用ピンで封緘可能）

1箱1,500円（税別）

【サイズ53×36×27】

（A4用紙が横に2枚入る大きさ：8cmの高さに折りたたみ可能）



❖T-CUBE Mailプラン

(排出量の多くないお客様、遠方のお客様向け)

物流会社様のネットワークを活用した郵送プラン

1箱1,000円 (会員価格：税別)

- ※ 伝票番号が12ケタの配送業者様ならどの会社様でもご利用いただけます。
【ご利用可能な宅配業者様一例】
日本郵便様、ヤマト運輸様、佐川急便様など、伝票番号が12ケタの配送業者。
- ※ 送料はお客様負担
- ※ 箱のサイズの目安 3辺（縦・横・高さ）の合計が100cm、重量20kg程度
- ※ 会員登録後、マイページより物流会社様の伝票に記載の12桁の番号を入力して申込み
- ※ 非会員1箱2,000円

T-CUBE Guardプラン (機密ボックス)

ファイルもホチキスも取らずにそのまま投入可能

•シュレッダー不要でコスト削減に◎!

- ゴミ袋やゴミ処理券、シュレッダーのリース代・修理費・買い替えにかかるコストが0円になります。
- ゴミ捨て・紙屑掃除にかかる人件費も0円になります!

Point
02

•社内のルール作りがスムーズに!

- シュレッダーとは違い、手早く・簡単に機密文書の破棄が終わります。
- 「出たらすぐ入れる!」機密管理のルール作りに最適です。

Point
03

•しかも…少ない月は嬉しい割引適用!

- 投入量が少ない月は、最大2,000円の割引が適用されます。
- さらなるコスト削減にお役立てください。



ボックスのサイズは？



Sサイズ

幅450mm・奥行450mm・高さ905mm

投入量の目安：45kg

Lサイズ

幅600mm・奥行450mm・高さ1105mm

投入量の目安：90kg

投入口は幅340mm・奥行40mm

最大9,800円（14,800円）とは？

Guard S（投入可能量 45kg） は、40kg以上は 9,800円になります。
投入量に応じて、最大2,000円引きとなります。

【料金構成】

BOX利用料：3,800円

BOX交換費・処分費：6,000円の合計9,800円

但し、『BOX交換費・処分費』は、計量により下記のとおり値引きとなります。

25kg未満：4,000円

25kg以上30kg未満：4,500円

30kg以上35kg未満：5,000円

35kg以上40kg未満：5,500円

40kg以上：6,000円

Guard L（投入可能量 90kg） は、80kg以上は 14,800円になります。
投入量に応じて、最大4,000円引きとなります。

【料金構成】

BOX利用料：5,800円

BOX交換費・処分費：9,000円の合計14,800円

但し、『BOX交換費・処分費』は、計量により下記のとおり値引きとなります。

50kg未満：5,000円

50kg以上60kg未満：6,000円

60kg以上70kg未満：7,000円

70kg以上80kg未満：8,000円

80kg以上：9,000円

機密ボックスお試しキャンペーンのご案内

～最長2カ月間（2回交換まで）無料でお試し頂けます～

お客様のオフィスでは、まだ、シュレッダーを使っていますか。

このサービスは簡単に言うと、シュレッダーのアウトソーシングです。

オフィス内にコンパクトな機密ボックスを設置して不要な書類を投入するだけ。

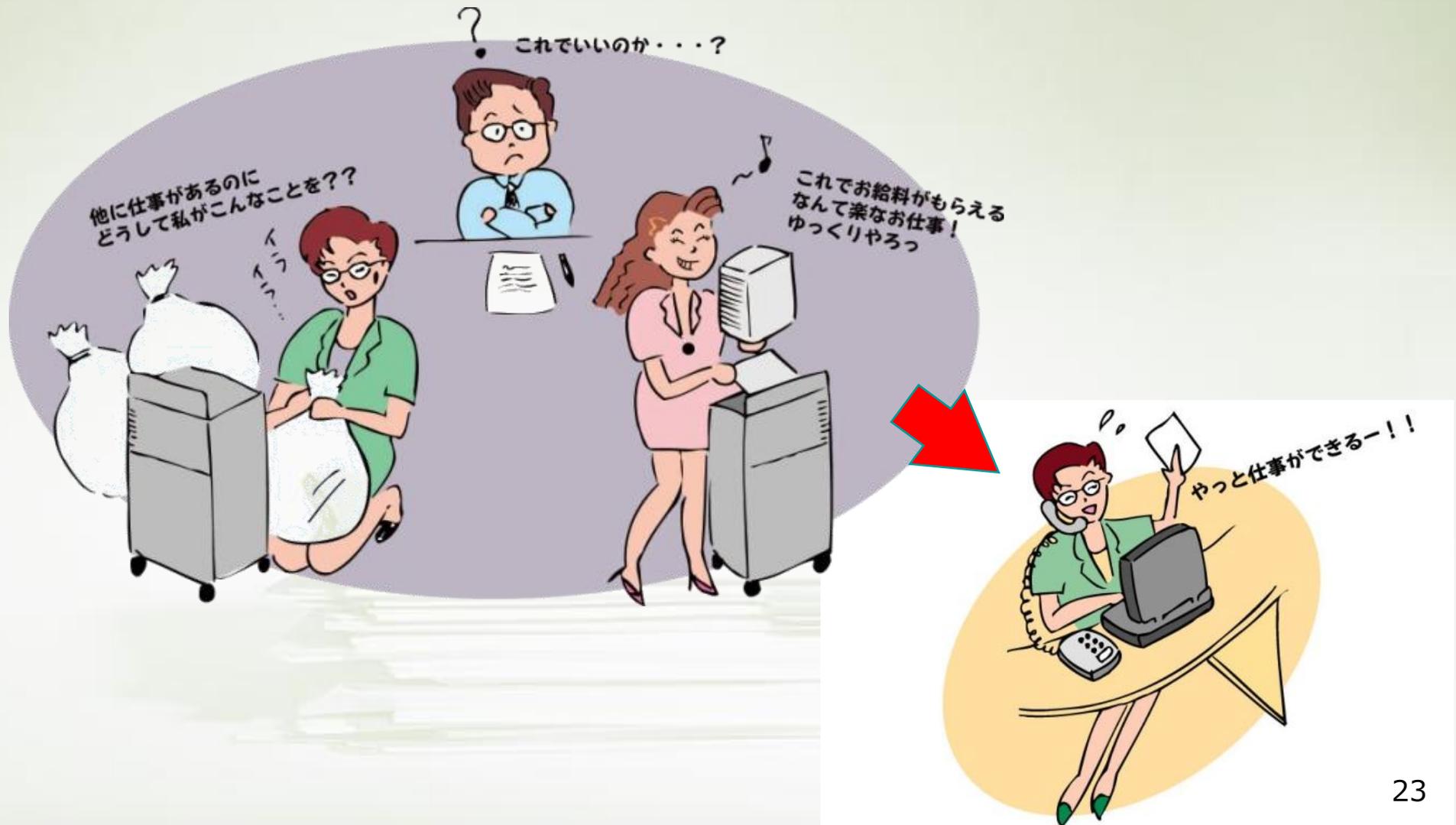
ファイルごと投函しても問題ありません。

もちろん、ホッチキスやクリップが付いたままで構いません。

目安としては、1台設置で月に1回の交換の場合、月額最大9,800円（Sサイズ）です。

費用には、機密ボックスの使用料から、回収費・処理費・機密抹消処理証明書発行費まで含まれます。

シュレッダーにかかる時間を 本来の知的生産に割り当てられます。



機密ボックスを導入すると、

- 忙しくて、シュレッダーをする時間がない。
- シュレッダー屑が一杯になった時の袋の交換が面倒。
- 袋の交換時のシュレッダー屑の散乱。
- シュレッダーの買い替え・保守メンテナンス不要。
- 誰かがシュレッダーを使用していると、あとまわしにってしまう。
- 段ボール箱での保管だと業者に引き渡すまでは、社内での紛失・盗難のリスクがある。

こんな問題点が解決できます。

導入してみたいけど、どれだけ社内で廃棄書類が発生するかわからない。

そのようなご要望にお応えして最長2カ月間（2回交換まで）無料でお試し頂けます。

使い勝手が悪ければ、遠慮なくお断りください。お試し期間中は、一切費用はかかりません。

この機会にぜひご利用をご検討ください。

- 情報漏洩リスクについては、損害保険ジャパン株式会社の事業活動総合保険サイバーリスク賠償責任補償特約に加入し、保険金額（1事故あたり）1億円（免責金額0円）の補償を付保しております。
- 施設・業務遂行リスクについては、損害保険ジャパン株式会社の事業活動総合保険に加入し、保険金額（1事故あたり）3億円（免責金額0円）の補償を付保しております。
- 休業リスクについては、中小企業庁の中小企業BCP策定運用指針に基づき、損害保険ジャパン株式会社の事業活動総合保険に加入し、休業損失保険金3千万円・営業継続費用保険金5百万円の補償を付保しております。



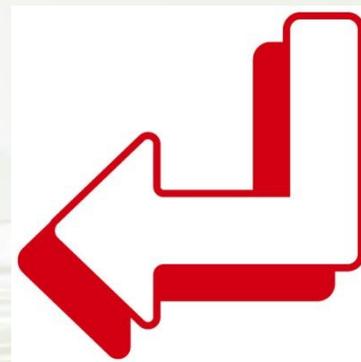
ボックスサイズ
幅45cm・奥行45cm・高さ90.5cm
投入容量：約45kg（A4用紙約11,250枚）



シュレッダーと同じ要領で投入するだけ



月に一度交換に伺います。



トイレットペーパーなどに生まれ変わります。

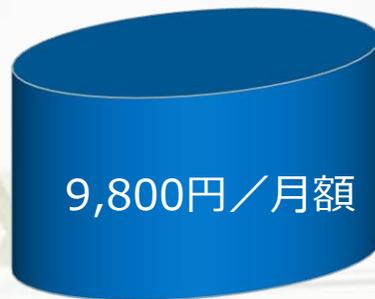
当社処理工場にて情報抹消

機密書類の回収から処理まで外部委託することのない一貫した責任あるサービスを提供しておりますが、万が一の事態に備え、情報漏洩リスクについては、損害保険ジャパン株式会社の事業活動総合保険サイバーリスク賠償責任補償特約に加入し、保険金額（1事故あたり）1億円（免責金額0円）の補償を付保しております。

シュレッダーとのコスト比較

(シュレッダー1台あたりの処理量約45kg/月の場合)

月額 最大9,800円
(1台設置、月1回交換)



機密ボックス使用



シュレッダー使用

標準的なシュレッダーの場合
(処理能力：15kg/時)

月額24,680円
(+電気代+ゴミ処理代)

リース代：10000円/月
メンテナンス代：10000円
(2.5年に1回：約300000円)
作業人件費：4500円
(3時間×1500円/時間
給)
ゴミ袋代：180円 (20円×9枚)
(+電気代)
(+ゴミ処理代)

【費用は全て税別】

社会貢献プロジェクト (T-CUBE Post)

個人情報の重要性をもっと知っていただくこと、世の中に、個人情報を自分で守り正しく処分することを定着させることを目的としたサービスです

お子様やご家族の情報
そのまま捨てていませんか？

完全無料で
個人情報を**抹消**

個人向け機密文書処理サービス



T-CUBE
Post



不要な書類やレシートを
ダンボールに入れて送る
だけで処理が完了！



タケシタが自社センターで
直接抹消処理を
いたします



処理代も完了通知も
全て無料でご利用いただけます※1

※1 配送業者様へ支払う配送料金はご負担ください。

申し込んで送るだけで完了！

個人向け機密文書処理サービス

T-CUBE Post

**個人様
限定
完全無料**

今すぐ申し込む

※配送業者様へ支払う送料はご負担願います。

○ A 機器買取サービス

～自社工場内にデータ消去ブースを開設～

専門のスタッフが専用ソフトを活用したデータ消去により情報を抹消



◆ツール名 : DataSweeper3(<https://www.a-d.co.jp/datasweeper/>)

◆開発元 : アドバンスデザイン株式会社

常設しているのは上記消去ツールのネットワーク版になります。

OA機器処理（データ消去）サービス

～専用破砕機を整備した都内唯一の処理施設～



従来の物理破壊と磁気消去だけではなく、ハードディスク専用の破砕機を導入
データ消去したOA機器は材質ごとに適した処理方法で100%リサイクル

【出張データ消去対応】

都内唯一のハードディスク専用破砕機



電子記録媒体（メディア）処理サービス



【対応可能な情報媒体】 HDD SSD LTO CMT USBメモリー CD FD DVDなど

当サービスは、産業廃棄物の処分に該当します
(根拠法令：廃棄物の処理及び清掃に関する法律)
産業廃棄物処分業許可取得 第13-20-016684号

東京都産業廃棄物処分業の許可を取得しております。
関係法令で定める産業廃棄物管理票（マニフェスト伝票）を発行

一番重要である情報抹消工程が廃棄物中間処分場への外部委託ではなく、
回収から情報抹消工程までの一貫した破碎処理サービスを提供しております。

マテリアルリサイクル

サーマルリサイクル

使用済みのプラスチックを溶かすなどして、
もう一度プラスチック製品に再生し、利用すること

原料として再利用できない情報媒体は、破碎処理後、先進的なガス化熔融する最終処分場に搬入します。最終処分場では、廃熱を回収し、発電することにより作り出された電気を電力会社に売電しています。

「情報廃棄」の見える化を推進

「立会い処理」をオンラインで、もっと身近に。



リアルタイムで
作業光景をご確認いただけます

自社処理施設を持つタケシタだからできたサービスです。

情報処理のプロだからこそ堂々と現場をお見せできます。

工場へのカメラの設置、作業場のレイアウト変更など、遠隔立会いを実現するために工場の一部を改修しました。

作業風景を見ていただくことで「不正が無い」ことがよりダイレクトに伝わればと考えています。

輸送リスクゼロ

HDDの完全な情報抹消

～お客様の拠点が処分場になります～

移動式 HDD専用破砕機で産業廃棄物処分業の許可を保有する**国内唯一**のサービス

物理破壊 + 磁気消去に加え、リサイクル市場に出回る際の流通時のリスクを限りなく『ゼロ』に近づけるため

『HDD専用破砕機』を**お客様の拠点に輸送し**、お客様の目の前でHDDを細かくする破砕処理をご提案します



録画機能付き メディア破砕機

ハードディスク
HDDシュレッダー



HDD・破砕前



5mm



40mm

HDD・破砕後

破砕対象物

HDD / SSD / USBメモリ / ICカード / 磁気テープ /
スマートフォン / CD・DVD / フロッピー



設備仕様

商品名	KS-13120HSV (R)	
対応メディア	デスクトップ	ノートパソコン
	(3.5インチHDD)	(2.5インチHDD)
開口部(mm)	150	90
破碎後サイズ(mm)	40×ランダム	5×ランダム
サイズ(mm)	800×1120×1232	
機械重量(kg)	900	
レコーディング機能	あり	

処理能力

KS-13120HSVR (1時間あたり)

40mmサイズ 3.5インチHDD	5mmサイズ 2.5インチHDD	40mmサイズ キャッシュカード (約5g)	5mmサイズ キャッシュカード (約5g)	40mmサイズ サーバー用HDDの 処理
180個～360個 ※10秒～20秒/個	420個～480個 ※7.5秒/個	2,400枚～3,000枚 ※一括投入 8～9枚 ※11秒/回	2,520枚～2,940枚 ※一括投入 6～7枚 ※8.5秒/回	約120個 ※約30秒/個

※投入スピード、排出方法により異なります。

※サーバー用HDDは、1～2回停止・破碎を繰り返し行う為、約30秒/個要します。30秒は2回停止した場合の時間です。

破砕対象メディア



ハードディスク
(サーバー用可)



スマートフォン



CD-ROM



破幅サイズ: 5mm



USBメモリ



磁気テープ



SSDカード



破幅サイズ: 40mm

破砕対象メディア



CD・DVD



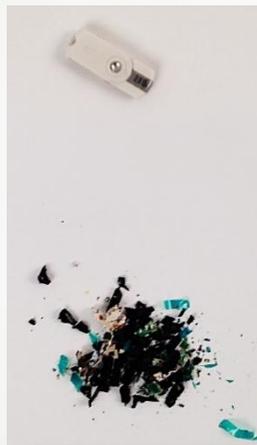
フロッピー



2.5インチHDD



スマートフォン



USB



PCB



ICカード



LTO

録画機能

HDDを投入する過程や
破砕が行われている様子を録画可能
SDカードにてデータ抽出



<https://youtu.be/ZGnWXgWr4Iq>

※動画:KS-13120HDR

輸送リスクゼロ

～お客様の拠点が処分場になります～



2.5インチハードディスク・SSD・カード兼用
(オンサイト用)
裁断幅: 12mm, 50mm

東京都産業廃棄物処分業許可取得機器

記録媒体処理管理システム

手順、処理工程など、お客様のご要望を反映させた構成でエビデンスを提出

記録媒体処理管理システムの処理の流れ

STEP
1



処理工程の登録

オーダーメイドの処理工程をお客様のご希望をお伺いしながら組み立て、タケシタがシステムに登録させていただきます。



STEP
2



処理データの登録

お客様にて処理するため電子記録媒体のシリアルナンバーをご準備ください。タケシタがシステムに登録させていただきます。電子リストがない場合は、弊社指定のフォーマットもごございます。



STEP
3



紐づけ回収

お客様より頂戴したシリアルナンバーと弊社の管理ナンバーを紐づけながら回収を行います。



STEP
4



処理作業

登録したすべての処理の工程において、Step3で紐づけた管理ナンバーとバーコードリーダーを使用して、処理した日時と対応者をシステムに登録することで、漏れなく正確な処理を行います。



STEP
5



エビデンス納品

お客様の要望に応じた成果物(エビデンス)を納品させていただきます。納品書につきましてもオーダーメイド可能ですので、お気軽にご相談ください。

記録媒体処理管理システムのメリット

その① 処理工程をシステム化して管理。ミスが起きるリスクを回避します。

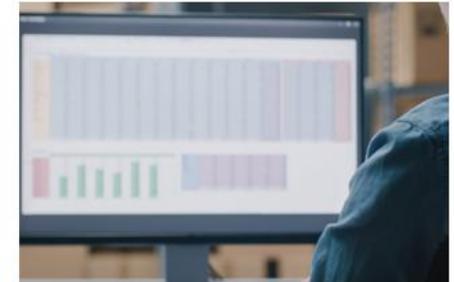
事前にお客様が

- どのような手順や工程での処理をご希望か
- 必要なエビデンスは何か

をお伺いし、タケシタがその内容をシステムに登録します。

工程については、ご要望に合わせて、設定ができます。

工程管理を行っておりますので、指定された工程の順番で、処理がされていない場合は、すぐに警告が出ますので、工程ごとに漏れなく、処理を行います。



その② バーコードリーダーで「いつ」「どこで」「誰が」「何を」を正確に管理

記録媒体処理管理システムでは、バーコードリーダーを活用しています。

バーコードを読み込むだけで、

- その工程が行われた日付と時間
- どこで誰がその工程を担当したのか
- どのシリアル番号を持つ媒体にどのような作業がされたのか

を管理することができます。手入力よりも正確で、かつ大量の処理をご依頼いただいてもミスが起こらないというメリットがあります。



国内完結のHDD溶解処理

データ消去（物理破壊＋磁気消去＋破碎）完了後のHDDといえども、より安全な処理をすべく、関東地区のアルミ二次合金メーカー等の溶解炉に投入して、希土類（レアアース）のネオジム等を回収する処理方法をご提案しております。



回収から処理までの流れ



『優良産廃処理業者』認定取得

弊社は、これまで東京都認定の『産廃プロフェッショナル』を取得していましたが、さらに厳格な基準で第三者機関に審査される環境省認定の『優良産廃処理業者』を取得しました。

『優良産廃処理業者』の認定は、遵法性・事業の透明性・環境配慮の取組・電子マニフェストの導入推進・財務体質の健全性が高いという証となり、サービスの受益者であるお客様の信頼性を高めることにも繋がるものと考えます。

お客様が『優良産廃処理業者』に処理を委託されるメリット

メリット①

お客様が環境に配慮していることを社内・社外にアピールできる！

お客様(排出事業者)が積極的に優良事業者を選択することで、お客様も環境に配慮した事業活動を行っているというアピールができます。

メリット②

リスク回避とその注意義務を果たしているエビデンスになる！

『優良産廃処理業者』は遵法性や事業の透明性が高く信頼性が担保されているため、『優良産廃処理業者』に処理を委託することは産業廃棄物の不適切処理などといったリスクをお客様が回避していることの証となります。

また、万が一、不適切な処理などのトラブルに巻き込まれた場合でも、お客様が排出事業者として業者選定において注意義務を果たしていることを社会に示すことができます。

メリット

1. シュレッダーにかかわる費用（リース代・メンテナンス代・電気代など）の削減。
2. 経費上見えなかった人件費の削減。
3. 業務ロスを減らし、事務効率の飛躍的な向上につながる。
4. 情報媒体の機密性を社員に判断させない。
（判断をさせることが人的ミス要因）
5. 消費電力、CO2発生の抑制という環境貢献につながる。

おわりに

今回の御提案は、お客様のご負担を極力軽減させたものとなっております。

詳細につきましては、協議のうえ決定していきたいと考えております。

- **個人情報、知的財産情報を外部に流出させない**
- **コスト増を回避し、環境問題にも考慮した処理方法**

お客様の解決すべき問題を当社がサポートします。

情報漏洩を防ぐ「最後の砦」として責任あるサービスを提供することをお約束いたします。

会社概要

- 社名 竹下産業株式会社
- 所在地 〒123-0852 東京都足立区関原一丁目14番2号
- 設立 1975年 7月（創業1933年）
- 資本金 1000万円
- 代表取締役 竹下敏史
- 連絡先 TEL 03 (3887) 1761 FAX 03 (3887) 9088
- URL <http://www.r-station.co.jp>
- 取引先 非公表
- 許可番号
 - 一般廃棄物収集運搬業 第474号（東京都23区）
 - 産業廃棄物収集運搬業 第016684号（積替保管含む）
（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・茨城県・群馬県・栃木県・大阪府・山梨県
長野県・愛知県・静岡県）
 - 特別管理産業廃棄物収集運搬業 第016684号（積替保管を除く）
（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・茨城県・群馬県・栃木県・長野県）
 - 産業廃棄物処分業 第016684号（東京都）
 - 古物商 第306681102711号（東京都公安委員会）
- 加入保険
 - 情報漏洩リスク
損害保険ジャパン株式会社の事業活動総合保険サイバーリスク賠償責任補償特約に加入し、保険金額（1事故あたり）1億円（免責金額0円）の補償を付保しております。
 - 施設・業務遂行リスク
損害保険ジャパン株式会社の事業活動総合保険に加入し、保険金額（1事故あたり）3億円（免責金額0円）の補償を付保しております。
 - 休業リスク
中小企業庁の中小企業BCP策定運用指針に基づき、損害保険ジャパン株式会社の事業活動総合保険に加入し、休業損失保険金3千万円・営業継続費用保険金5百万円の補償を付保しております。

個人情報取り扱いについて

【個人情報保護理念】

当社は、廃棄物収集運搬業務および機密文書破砕処理業務を営む個人情報取り扱い事業者として、お客様からお預かりした個人情報の適正な取り扱いならびに保護の徹底は、社会的責務であると考えます。

さらに、個人情報の保護によりお客様にご安心いただくことは、当社の事業活動の重要な基本事項の一つであると考えております。

そのために当社では、「個人情報保護方針」を掲げ、その遂行のために最大限努力することをここに宣言いたします。

【個人情報保護方針】

1. 当社において個人情報を取り扱う際は、廃棄物収集運搬業務および機密文書破砕処理業務、ならびに従業員の雇用、人事管理上に必要な範囲でのみ取得し、利用、提供を行います。また、お客様から同意を得た範囲を超えて個人情報が目的外的利用、提供がされないよう管理します。
2. 当社は、個人情報に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守します。
3. 当社では、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏洩を予防するために合理的な安全対策および是正処置を行います。
4. 当社は、個人情報の管理責任者を選任し、個人情報保護マネジメントシステムの実施および運用に関する責任と権限を与え、適切な管理を行います。
5. 当社の個人情報保護マネジメントシステムは、教育、運用、監査、見直しなどを通じて、継続的に改善を行います。
6. 当社では、個人情報の開示、訂正、削除、利用および提供の拒否要求、その他苦情、ご相談など、個人情報に関するお問合せについての窓口を設置し、2週間以内に対応致します。

制定年月日 2005年 9月 1日
最終改訂年月日 2009年 1月25日

竹下産業株式会社
代表取締役 竹下 敏史

情報セキュリティ・環境基本方針

当社は、機密書類及び電子記録媒体の情報抹消処理、廃棄物の収集運搬・処分を行う事業者として、顧客情報をはじめ、お客様からお預かりした各種媒体など、重要な情報資産をセキュリティリスクから保護し、適切な管理を行なうことが、お客様との信頼関係構築につながると確信し、情報セキュリティマネジメントシステムを確立・運用いたします。

また環境保全への取り組みは、もはや社会的責務であると考えております。

情報セキュリティマネジメントシステムならびに環境マネジメントシステムの適切な運用と管理を事業の重要事項と位置づけ、経営者をはじめ全従業員で実施、遵守してまいります。

[情報セキュリティマネジメントシステムの実施にあたっての基本原則]

- (1) 当社は、情報セキュリティ基本方針の表明及び、ISMSマニュアル、情報セキュリティ手順書を制定し、取扱う情報に対して適切な情報セキュリティ対策を講じます。
- (2) 全従業員は、定められた情報セキュリティ対策に準じて、情報資産の取扱い、保護・管理を行います。万が一、違反した場合は、その内容によって罰則を課します。
- (3) 当社は、社内の責任体制を明確にすると共に、情報セキュリティに関する法令、規制、得意先各社との契約を遵守します。
- (4) 当社は、適切なリスクアセスメントに基づいて、情報資産への不正なアクセスに対して、効果的且つ安全なセキュリティ対策を講じます。
- (5) 当社は、情報セキュリティの監査・是正・教育を定期的に行い、セキュリティ対策の適切な改善、維持を図ります。
- (6) 当社は、情報資産を外部業者に委託もしくは共有する場合、当社ルールに従い、安全が確保されると確認できる委託先を選定すると共に、適切な教育・監督を行います。
- (7) 情報漏洩・改竄等の事故が発生した場合は、迅速且つ正確に状況を把握し、適切な判断と対応を行います。

[環境マネジメントシステムの実施にあたっての基本原則]

- (1) 事業活動における環境側面を認識し、継続的な環境マネジメントシステムの向上と環境汚染の予防に取り組みます。
- (2) 環境に関する法令、条例および当社が受け入れたその他の要求事項を遵守します。
- (3) 環境パフォーマンスの向上のため、目的・目標を設定し、改善活動を推進するとともに、それらの見直しを行います。

なお当方針は、当社の全従業員に周知すると共に、社外一般にも広く公開いたします。

制定：2012年11月1日

竹下産業株式会社
代表取締役 竹下敏史